



横浜市立富岡小学校

学校だより1月号



新年明けまして、おめでとうございます

校長 浅野 修一

「雲一つない真っ青な空のもと、近所の公園では元気いっぱい子ども達が走り回っています。」

これは昨年1月の学校だよりの書き出しです。コロナウイルスのニュースが出始めてはいましたが、いつも通りの平和な新年を迎えていました。それからたった1年後、令和3年のお正月は、昨年とは状況も我々の気持ちも全く違うものとなってしまいました。今週中にもこの神奈川県に緊急事態宣言が発令されるといった報道がされています。これまで通りの平和な日常が、一日も早く訪れることを願わずにはられません。

富岡小学校では、これまでも子ども達への手洗いうがいの指導や声かけ、マスク着用の励行、密にならないような授業形態の工夫、放課後の校内消毒、廊下への消毒マットの設置など日々の感染予防対策を行っておりますが、今後も保護者、地域の皆様にご理解とご協力をいただきながら、さらに取組を徹底していくとともに、子ども達の健康と安全確保に努めてまいります。皆様のご理解とご協力をいただければ幸いです。

今年、丑年、子年に蒔いた種が芽を出して成長する年とされています。また丑年は、先を急がず目のことを着実に進めることが将来の成功につながっていくとも言われているようです。1月からの3カ月は、進学や進級に向けての大切な時期となります。これまで学習してきたことを振り返りながら、自分自身の成長を実感してほしいと思います。このような時だからこそ落ち着いて、目の前の課題やめあて、目標に一步一步着実に取り組む気持ちが大切ではないでしょうか。そのためには、一人ひとりが自分の目標やめあてをしっかりとつ必要があります。

毎年、12月最後の放送朝会時に「一年の計は元旦にあり」という言葉を子ども達に紹介し、お正月に今年1年の目標を考えることを、私からの宿題にしています。いつもは年明けの全校朝会で、子ども達の表情を見ながら目標設定の確認をするのですが、現状では全校が集まった朝会ではできません。今年、教室をまわって子ども達の表情や学習の様子から、目標をもって取り組んでいるかを感じ取りたいと思っています。ご家庭でも、ぜひお子様の「今年の目標」を聞いてみていただければと思います。

最後になりましたが、年頭にあたり児童、保護者、地域の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げますとともに、一日も早いコロナ禍の終息を願います。今年も本校教育活動へのご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。